

令和3年度 第4回香南市地域公共交通会議 書面開催結果（報告）

令和4年2月24日

令和4年2月1日（火）に開催を予定しておりました「令和3年度第4回香南市地域公共交通会議」は、新型コロナウイルスの影響により書面での開催とさせていただきます。書面開催の結果について以下のとおりご報告いたします。

1. 決議結果

決議事項	決議結果
議案（1）香南市地域公共交通計画（案）について	原案どおり承認（全員）
議案（2）香南市営バス一部ダイヤ改正について（令和4年4月1日改正）	原案どおり承認（全員）

2. 意見など

議案（1）香南市地域公共交通計画（案）について		
No.	意見など（委員）	意見に対する回答（事務局）
1	事業⑥のいち駅と高知龍馬空港を結ぶ乗合タクシーの認知拡大と新たな輸送方法の検討について、空港⇄県東部方面の二次交通の改善策については、一般社団法人空港振興・環境整備支援機構の助成制度のテーマ(R4)となっており、実証運行などの取り組みに対し助成金が活用できる可能性がある。	新たな輸送方法については、高知県東部広域地域公共網形成計画の主要施策となっており、具体的な方策については高知県及び関係自治体等との連携し、補助金や助成金の活用も含め検討していきます。

No.	意見など（委員）	意見に対する回答（事務局）
2	<p>事業⑱、⑳にあるような、利便性が高くなる取り組みが進められれば良いと考える。香南市だけで考えることではないが、土佐くろしお鉄道、高知東部交通バス、路面電車、市営バス、タクシー等が1つの定期券や共通のポイントで利用できれば良い。（ドイツのフライブルク市では1990年代初頭から自動車利用を公共交通利用にシフトさせる取り組みを始め、レギオカルテという地域内の定期券を発行している。）</p> <p>今後は、イベントや運転免許返納制度など他の施策と連携した公共交通の利用特典や、利用することによる環境や地域公共交通の持続への貢献度なども市民の方に感じてもらえるような施策に発展していくことが期待される。</p>	<p>運賃制度や支払い方法については、利用者のご意見や費用対効果等を踏まえ、利便性の向上を目指していきます。</p> <p>様々な公共交通サービスを1つの定期券で利用できるようなサービスの導入については、JR線も含め、高知県全体で検討する必要がある事項と捉えております。導入を目指すのであれば本市も積極的に協力していきたいと考えております。</p> <p>また、様々な施策を実行するにあたっては、委員のご意見のようにそれぞれの施策がしっかりと連携してより効果的となるように取り組んで参りたいと考えております。</p>
3	<p>目標の評価指標について、市営バス、高知東部交通ともに、利用者数に加え「収支率」、「公的負担額」の設定をお願いします。（活性化再生法において、定量的な目標として定めることとされているため。）公的負担額については「課題⑤適正な財政負担」でも改善の必要性に触れている。</p>	<p>ご指摘の箇所につきまして、パブリックコメント後反映できるよう検討いたします。</p>
4	<p>本計画は、今後の「香南市振興計画」、「香南市都市計画マスタープラン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の取り組みや将来の都市構想が考えられており素晴らしいと思う。</p> <p>今後、計画から実行へ進む中で、行政、住民、公共交通関係者の方々との連携が進められていくことが大切な事だと考える。今後も社会的弱者（障害者や高齢者）を温かく包み込んで頂き、地場産業の発展に向けても取り組んで頂きたいと思う。</p> <p>将来的には公共交通空白地域の解消が図られる事はありがたい事である。</p>	<p>ご意見頂きましたとおり、計画の実行にあたっては、行政、市民、交通事業者等の各関係団体が連携し、交通空白地域の解消も含めて地域公共交通サービスの改善と充実に向けて取り組んでまいります。</p>

No.	意見など（委員）	意見に対する回答（事務局）
5	<p>既存のバス運行区間（特に東川線方面）のバス利用者はどのような反応なのか。（高齢者は変化を嫌う。さらに予約という手間が増えることに理解してくれていれば良いが）</p>	<p>今回、東川線方面の地域も含め乗合タクシーの移行を想定する地区での意見交換の際には、概ねご了承の反応をいただいている状況です。引き続き、理解促進に努めるとともに、計画策定後、地域住民との対話を重ねて納得いただける乗合タクシーの仕組みを一緒に作っていくよう努めます。</p>
6	<p>市営バスや乗合タクシー等の国や県の補助対象となる事業については、補助対象とするための文言の追加が必要となるのでしょうか。</p>	<p>補助金等について再度確認のうえ、必要に応じて追記するよういたします。</p>
7	<p>公共交通の運営に受益者負担の原則を適用するのは過去の話ではないか。現在はクロスセクター効果に代表されるもっと大きな視点から評価していく流れになっているはず。とはいえ、タダ乗りになってはいけないことに変わりはないので、受益者負担の原則を削除した上で表現を変えた方が良いと思う。</p>	<p>該当箇所につきまして、以下のとおり修正いたします。</p> <p>（修正前）</p> <p>○市の公共交通に対する財政負担は約 8,500 万円／年であり、限りある財政状況を踏まえ、できるだけ負担を増やさず、効果的な運行によりサービス水準を維持・向上していくことが求められている。</p> <p>○受益者負担の原則を踏まえ、適正な財政負担を意識しながら、見直し・再編と造次に運行経費削減、運賃の見直し等による改善が必要である。</p> <p>（修正後）</p> <p>○市の公共交通に対する財政負担は約 8,500 万円／年であり、限りある財政状況を踏まえ、できるだけ負担を増やさず、<u>利用実態やニーズに考慮した効果的な運行によりサービス水準を維持・向上していくことが求められている。</u></p>

議案（２）香南市営バス一部ダイヤ改正について（令和４年４月１日改正）		
No.	意見など	意見に対する回答
1	<p>山南・徳王子線の改正について、以前にのいち駅に午前９時５２分に到着しても９時５４分のごめん・なはり線高知行きに乗車できないことで、のいち駅から高知駅までタクシーで行って須崎方面行きの列車に乗車したと聞いたことがあるので、今回の改正で改善されることは良いと思う。</p> <p>今後も列車の改正の時や、諸事情があれば、その都度必要に応じて改正して頂くとありがたい。</p>	<p>山南・徳王子線の改正する便については、数名の利用者から改善のご要望を頂いておりました。利用者の方にはご不便をお掛けしまして申し訳ございませんでした。</p> <p>今後もダイヤの一部改正は、年に１回は必要に応じて実施していきたいと考えております。</p>

以上